



河小だより

四日市市立河原田小学校
第16号 2019.1.18

★3学期が始まりました!★

始業式での子どもたちの姿は、今まで通りの河原田っ子の姿でした。廊下を静かに歩き、静かに待ち、式が始まると、姿勢を正し、静かに話を聴くという姿です。「当たり前のことをバカにせずちゃんとできる」子どもたちの姿です。この姿が、学校だけでなく、家庭においても、地域においても現れるようになってほしいと強く願っています。

始業式では、「人の役に立つ」行動をしよう、という話をしました。ただ、すごいことをしなさいということではありません。朝、決まった時刻に起床し、服を着、朝食を食べ、登校する。それも、家族の役に立っているよ、という話をしました。「当たり前のことを当たり前にする」それは、人の役に立っていることと結びつくということをお話しました。しかし、一つだけ挑戦してみてもどうかということも話しました。「誰にほめられなくても、誰に認められなくても、人のためになる」ということならやってみようということです。その例として次のことを話しました。「登校班の班長の中には、時折、後ろを振り返り、2列に並ぶように声をかけたり、遅れている班の子どもがいないか確かめたりして歩いている班長がいます。学校の手前の細い道であっても、そのようにしています。南中学校へ向かう自転車が通ったり、後ろから急いでくる人がいたりします。人や車が多く通らないところでも、片方のスペースを空けて歩くと、その道を利用する人のためになるのです。それは、下校時、放課後に遊んでいるときも一緒です。ルールを守らず、人のことを考えず、歩いたり、遊んだりしていると、その道を利用する車の運転手の方や地域の方に迷惑をかけます。教師がその場になくても、人の役に立つ行動をしようとすれば、社会に迷惑をかけることはないです。誰にもほめられることはないと思うけど、それが人の役に立つということです」と言ったことを話しました。地域の方や保護者の方から、道路上の子どもたち様子についてご意見をいただくときがあります。河原田っ子の多くがルールを守って過ごしていると難じていますが、そうでない子どももいるということです。「人の役に立つ」行動とは、「当たり前のことをバカにせずちゃんとする」行動のことなのです。河原田っ子全員がそうになってほしいと願っています。

★避難訓練★



- ・休み時間に大きな地震がおり、給食室より出火。児童はすみやかに避難を要する。出火場所に応じた、より安全な避難経路を考えて避難することができる。
- ・休み時間に地震・火災が発生した場合の身の守り方と避難方法を身につける。

災害はいつ、どこで起きるかわかりません。もし、それが子どもたちしかいないときに起きたら、子どもたちは自分の身を守り、仲間を助けるために、どのように行動すればよいかを知らなければなりません。危険予測能力と危険回避行動力の育成です。壁など(倒れやすいもの)に注意して、ゆれが収まるまで待機し、火事の場所に近づかないようにしながら避難する。ハンカチで口を押え「お・は・し・も」のキーワードを忘れず避難する。それが、「自助」と「共助」です。そのための訓練です。

子どもたちは真剣に取り組んでいました。

★人権フォーラム 1/16★

南中学校区の小中学生が集まって人権について考える機会、人権フォーラムを持ちました。フォーラムでは、人権作文発表とワークショップに河原田小・日永小・泊山小・南中学校の4校の児童・生徒が取り組みました。人権作文では、各校1名の代表者が人権に関する自分の体験をもとにした作文を発表しました。ワークショップでは、人権にかかわる課題が2点出され、グループになり話し合われました。「あの子があなたの悪口を言っていたよ、と仲良しの子に言われたら、信じる・信じない」の課題では、熱の入った意見交換がありました。自分の生活の中でも、経験することが課題となると話しやすいようでした。また、中学生の代表の人が話しやすい雰囲気をつくりながら進めてくれたことで、自分の考えを伝えやすかったこともあります。4月からは同じ中学校のなかまとしてより良い中学校生活を送れることを願っています。



★素敵な作品！昨年12月21日の「竹灯り点灯式」の様子★



ホームページでも紹介しましたが、2学期末に、延べ20数名の地域の方々をゲストティーチャーに迎え、6年の子どもたちが「竹灯り」づくりに取り組みました。地域の方々が河原田地区内に生い茂る竹を伐採し、灯り用の竹を準備してくださるとともに、授業の中で、子ども達とともに竹灯りを作ってくれました。その点灯式が、12月21日に河原田地区市民センターで行われました。たくさんの子どもたちが参加してくれたことを嬉しく思います。3年生が製作した和紙で作る灯籠も点灯されました。とても、美しい風景でした。常々思うことですが、地域の方々の協力のもと、子ども達と一緒に活動する教育活動が本校には根付いています。教師や学級の仲間との「学び」にはない良さが、地域の方やボランティアの方、農芸高校の高校生との交流活動の中にはあります。

来年度は、市民センター、河原田消防団、農芸高校、興農社、河原田ミカン栽培農家、寿会（老人会）、河原田保育園等との交流活動を継続し、より良い活動に高めていきたいと考えています。

今後とも、ご支援、ご協力、よろしくお願いいたします。